

落穂ひろいの旅(その3)

2021-6-23 池田良穂

「日本の旅客船Ⅲ」の最後の取材についてご報告します。

まず、前回の落穂ひろいの旅(その2)でもご紹介した玄武洞渡船ですが、渡船の修理も終了して、運航が再開されたと聞いて再び撮影にでかけました。兵庫県北部の豊岡市の丸山川を隔てた JR 玄武洞駅と観光地玄武洞を結ぶ渡船で、玄武洞ミュージアムの運航になっています。今回は、駅からのお客を乗せて、玄武洞ミュージアム下の渡船場に到着するのを撮影することができました。

続いて、残る数隻の写真撮影のため、昨日、東京日帰りの撮影行を行いました。1つは東京観光汽船の「エスメラルダ」、そして東京水辺ラインの「こすもす」、取手市営の渡船「とりで」の3隻です。

「エスメラルダ」については、事前に会社に問い合わせるとオリンピック開催でお台場の栈橋がしばらく使えないので運休中とのこと。それでは、同社の船が毎日係船されているはずの竹芝栈橋の北側の岸壁へと向かいました。行ってみると、ウォーターズ竹芝という名前のお洒落なウォーターフロントに変身しており、カフェ、レストランなども整備されていて、そこから水上バスを眺めることができました。栈橋からは、東京水辺ラインの3隻の水上バスが発着しており、東京都観光汽船の水上バスの一部の便も発着していました。ここは、バックには浜離宮庭園の緑と、その奥に高層ビル、そしてスカイツリーも映り込むという絶好の撮影ポイントでした。

茨城県の取手市には、古くからある小堀の渡船があり、新しい渡船が就航しているとのことで、撮影に出かけました。小堀は「おおほり」と読み、取手駅の近くの河川敷から渡船がでています。上野駅から JR の常磐線に乗って 40 分ほどで取手駅に到着しました。駅にも、途中にも「渡船」の表示は見かけられずに、近くのお店で聞いてようやく渡船場に到着できました。ほぼ 1 時間に 1 本のスケジュールで運航しており、利根川の対岸の小堀まで 13 分の航海です。船は「鳥」のような外観デザインで、船側に KAWASEMI と書いてあるので、「カワセミ」のデザインなのでしょう。船長(船頭)さんに伺うと、昔は、小堀地区は陸の孤島で、渡し船だけが頼りだったとのこと。ただ、現在は道路も整備されてバスもあり、渡船を使う住民は減って、観光客の方が多とのことでした。この時の乗客は 1 人だけでした。



玄武洞渡船は船外機付きの FRP 船でした。JR 玄武洞駅から玄武洞ミュージアムを結びます。この日の船頭さんは女性でした。



朝のウォーターズ竹芝の船溜まりに繋がれている東京都観光汽船の水上バス群。左から隻目の船が、目的の「エメラルダス」です。階段状のテラスがあります。



とりあえず「エメラルダス」の顔写真だけ撮ってから、取手市に、小堀の渡し船を撮影に向いました。



小堀の渡しの取手駅の乗場は、駅の南の利根川の河川敷にありました。運航中を表すの赤い旗が立っていました。



渡船「とりで」が近づいてきました。対岸はうっそうとした森が広がっています。



船首のブルワークが黄色に塗られており、まるでくちばしのようなようです。あひるかと思いましたが「かわせみ」のようです。



かわせみの写真ですが、似ているでしょうか。かわせみは取手市の「鳥」だそうです。



ポンツーンに着岸直前です。乗客は1人だけでした。



この桟橋で船は 10 分ほど止まっていたので、その間に船頭さんからいろいろ話が聞けました。



渡船「とりで」の出港を見送って、再びウォーターズ竹芝に戻りました。ちなみに「とりで」はアルミ合金製の 19 総トン型船です。



朝には横に着いていた「ひみこ」が出勤(?)して、停泊中ながら「エスメラルダ」の全形が撮影できました。



東京水辺ラインの「あじさい」の出港です。



東京都観光汽船の「ひみこ」が、水門を通過して、ウォーターズ竹芝の浮桟橋に着岸しました。上の写真は水門に入る直前、下の写真はポンツーンに停泊後です。



ごみ収集船「第2 清海丸」が入ってきました。



水上タクシーも浜離宮を水上から見学して水門から出ていきました。



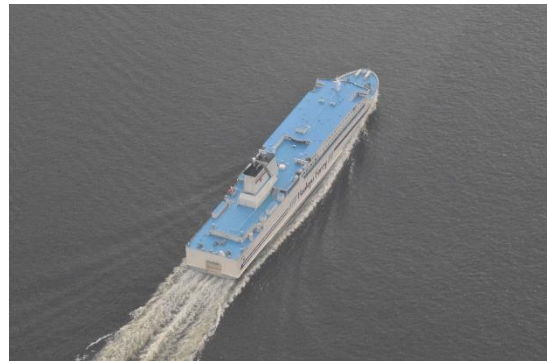
東京水辺ラインの「さくら」が入港してきました。ウォーターズ竹芝のウォーターフロントにはバーベキューレストラン、フレンチレストランなどたくさんの商業施設が入っています。



ウォーターズ竹芝には階段状のテラスがあり、船を眺めながらゆったりと休憩ができます。そのうちシドニーのような賑やかなウォーターフロントになるでしょうか。



東京水辺ラインの「こすもす」の入港を撮影してから、浜松町からモノレールで羽田空港に向かいました。搭乗締め切り時間まで10分で、ぎりぎりセーフでした。



関西空港に着陸する寸前に、飛行機の窓から阪九フェリーの「いずみ」の姿が見えました。泉大津から出港して、新門司に向う瞬間です。